

令和7年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

## 岸谷地区 活動報告

推進テーマ

# 子どもの育ちと学びをつなぐ 架け橋期の交流と連携

岸谷地区

SEAKID保育園

岸谷小学校



## 推進テーマ

# 子どもの育ちと学びをつなぐ 架け橋期の交流と連携

## 推進テーマ設定の理由

- ▶ 岸谷小学校は、各学年2学級であるが、毎年約20園以上の幼稚園・保育園等から児童が入学してくる。そのため、岸谷地区では、年間を通した子どもの交流の計画を立て、保育参観・授業参観の実施と保育者・教員の交流や研修を行うことで、架け橋期のカリキュラムの見直しと実践・改善ができると考える。



き【希望】(きぼう) 社会に視野を広げ、たくましく未来を開く意欲をはぐくみます  
し【幸福】(しあわせ) 生命や健康を大切にし、主体的に課題を解決する力を高めます  
や【優愛】(やさしさ) 互いを認め合い、まちを愛しまちのために役立つ心育てます

## 推進内容

- ▶ 年間を通した子どもの交流の計画・実施
- ▶ 架け橋期のカリキュラムの見直しと実践・改善
- ▶ 保育参観・授業参観の実施と保育者・教員の交流や研修



事業名	日時	内容
第1回 推進委員会	6月6日	年間計画について
第1回 交流会	6月16日	教室遊び・学校紹介 園児と1年生が交流
小学校参観	6月21日	土曜参観 保育士による授業参観
幼保小教育連携研修会への参加	7月24, 25日	こども青少年主催の研修会に参加
保育参観	7月25日	小学校教諭が保育園での1日体験
第2回 推進委員会	8月27日	子どもの交流計画の作成
小学校運動会	10月28日	園の職員が運動会を参観
第2回 交流会	11月17日	秋をテーマに園児と1年生が交流
第3回 交流会	12月18日	秋をテーマに園児と1年生が交流
第4回 交流会	12月23日	教室遊び・お気に入りの場所の紹介 園児と1年生が交流
第5回 交流会	1月20日	保育園に招待状を届けに行く
第6回 交流会	2月6日	園児と1年生の給食交流会
第7回 交流会	2月13日	園児と5年生の交流会
第8回 交流会	2月26日	1年生による学校案内
第3回 推進委員会	3月	今年度の振り返りと来年度の計画

今年度の重点課題  
～力を入れたこと～

## 子どもたちの姿から 学んでいこう、つくっていこう



- ▶ スタートとなる今年度は、園児と児童が継続して関わり合える交流活動や保育参観・授業参観の実施と保育士・教員の交流や研修を計画的に行い、子どもの実際の姿から、保育士・教職員同士が子どもの連続した学びについて理解し、連携していく基盤づくりに力を入れた。

# スタートカリキュラムの様子



園でもやったことがあるよ！  
「学校の？」を探しに行こう！

朝の支度がスムーズにいくように、見てわかる掲示を作ろう。

学校には、どんな場所や人がいるのかな。探検をして、学校と仲良しになろう。



空の食缶で、給食の練習をしよう。



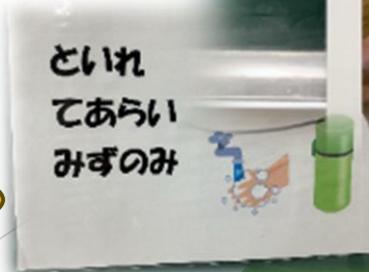
②おもちゃえりのへやに しまう



③ろっかーに しまう



④ふくろのなかみを だす



- なかよしタイム 一人ひとりが安心感をもって、人間関係を築く時間
- クラスや学年で活動する。
- わくわくタイム 生活科を中心に、体験や活動を行う。
- ぐんぐんタイム 教科などへのゆるやかな移行の時間

学校はたのしいよ！！

# 「はじめまして！」出会いを大切にする

## ▶ 出合わせ方の工夫

出合わせ方について、保育士と教職員とで事前に打ち合わせを行った。「お散歩の途中で岸谷小学校の前を通りかかったくじら組さん」を校内に招いて遊ぶことになった。急な出来事ではあったが、卒園児達は保育士や一つ下の友達との再会を喜び、他の児童も、新しい友達として出会いを喜んでいた。



# お気に入りの紹介しよう

教室の中や図書館、飼育小屋の紹介、年長児に遊び方を教えたり一緒に遊んだりして交流を深める。

図書館には本がたくさんあるよ。読んであげるね。



折り方を教えてあげているの。



うさぎ小屋があるんだよ。  
ゆきちゃんっていうんだよ。



大きい黒板やテレビがあるんだよ。びっくりした？



遊び方を教えてあげるね。



# 秋となかよしになろう



講師を招き、秋の自然を使った遊びを楽しんだ。どんぐりを使ったおもちゃ作りでは、年長児もおもちゃを作れるようにと、どんぐりを一生懸命集め、当日は年長児を手伝ったり、できそうなところは委ねて見守ったりしていた。出来上がった時には、自分のことのように喜んでいた。



# 小学校参観

保育士が授業の様子や運動会の様子を参観

教室内の環境設定では、ひらがなでの名前・ロッカーの使い方・掲示物など勉強になり、保育でも取り入れました。

3月までの保育の見通しが具体的にできた。小学校の雰囲気を感じることができた。

運動会の参観では、年長児も参観でき、進学への期待が膨らんでいた。





# 教職員による保育園での一日体験

～学んだこと～

1年生は0からのスタートではなく、保育園での活動や学んだことの積み重ねがそれぞれの子もたちの力になっていると感じた。その経験を小学校生活でつなげられるよう、子どもたちの力をのばしていきたい。

0歳児のクラスでは、座ったり玩具を使って遊んだり、小学生が当たり前に行っていることが、0歳児にとっては大きな成長であることに驚いた。また、保育士の接し方はとても柔らかく、宝物のように子どもたちに声をかける姿が印象的だった。

1年生は小学校のなかで見たら幼いが、十分成長してきて自分のできることを積み重ねて小学校に入学してきていることが分かった。これからは、お姉さんお兄さんとして学習できるよう支援していきたい。

小学校に入学する前の様子が具体的に分かり、幼保小の連携の大切さを改めて感じた。保育士の言葉の選び方や、話し方、動きなど勉強になることばかりだった。入学前の様子が分かると一年生にできる支援やアプローチの引き出しが増えると感じた。

0～5歳児のクラスで、4名の教職員が保育園での一日体験を行った。このことを通して、児童に対する見方が豊かになり、発達に対する理解が深まるきっかけとなると共に、保育園からは、保育士の仕事を知ってもらえたことがよかったという声があった。



またあそぼうね  
給食交流に向けて招待状をとどけよう！

机の上に置く名札の絵は岸谷小学校にしよう！開くとおめでとうのメッセージが書いてあるんだよ。



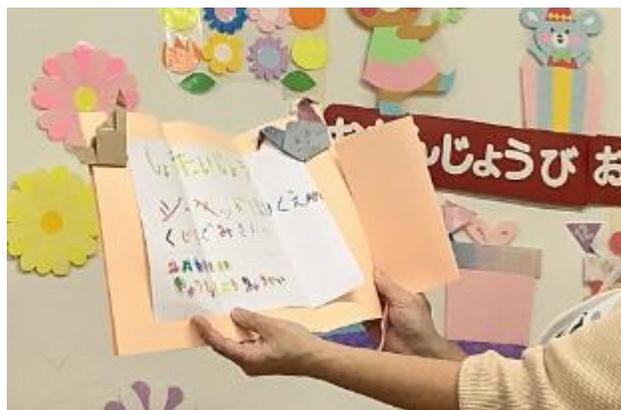
年長児の「小学校の給食が食べたい！」という言葉聞き、実施に向け、児童たちが動くよう促した。

2月の給食交流会に向け、招待状や座席に置く名札をまた会うことを楽しみに年長児の顔を思い浮かべながら作成した。

さらに「保育園に届けに行きたい」という思いを叶えるために、保育士と日程を調整し、実施できるようにした。



くじら組さんが喜ぶように、招待状に折り紙の飾りをつけよう。



## 5年生と一緒に遊ぼう

岸谷小学校では、入学説明会に保護者が参加している間、5年生との交流会を行っている。5年生は、年長児が「学校は園と同じように安心できる場所」と感じ、入学が楽しみになるように計画を立て実施している。5年生もまた、最高学年に向けての活動として楽しんで活動している。

4月になると、1年生と6年生として再会し、日常的な関わりがスタートする。



# 成果と課題

	交流	カリキュラム
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 架け橋のカリキュラムの連続性や重要性を理解することができた。</li><li>・ 交流をすることで1年生自身も成長できる機会だと感じた。</li><li>・ 職員同士、顔を合わせる機会が多くなり、コミュニケーションが図りやすくなった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学年で、足並みを揃えてスタートカリキュラムを行うことができた。</li><li>・ 年長児と関わることで、1年生は「0からのスタートではない」ことが理解でき、来年度のスタートカリキュラムに生かせる。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動が小学校主体になりがちだった。年度初めに計画について話し合う時間を十分にとり、双方向に充実した交流になるようにする。</li><li>・ 夏の天候に合わせて、オンラインなども取り入れ、計画的に行えるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スタートカリキュラムと教科指導の充実が図れるように、年間指導計画を見直す必要がある。</li><li>・ 担任だけでなく、保育士や1年生担任経験者の協力を得ながら、スタートカリキュラムを見直し、充実させる必要がある。</li></ul>